

株主メモ

決算日	3月31日
定時株主総会	6月
株主確定基準日	議決権行使株主 3月31日 期末配当金受領株主 3月31日 中間配当金受領株主 9月30日
上場証券取引所	東証・名証一部
証券コード	6676
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告 http://melco-hd.jp/koukoku/
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
同取次所	三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店 ◎電話照会先 TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル) 土・日・祝日を除く9:00~17:00
幹事証券会社	(主)大和証券 (副)野村證券、みずほ証券、SMBC日興証券

株式会社メルコホールディングス (証券コード6676)

本社 〒460-8315 名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル
TEL.052-251-6891(代) FAX.052-249-6609

株式会社バッファロー

本社 〒460-8315 名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル
TEL.052-249-6610(代) FAX.052-249-6609
東京オフィス 〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー
TEL.03-3523-3333(代) FAX.03-3523-3300



UD FONT
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

■ ウェブサイトのご案内

株式会社メルコホールディングス

最新ニュースや会社情報、投資家様向け情報等を提供しております。



パソコン melco-hd.jp

株式会社バッファロー

当グループの中核企業のサイトで製品情報を中心に提供しております。



パソコン buffalo.jp



スマートフォン m.buffalo.jp

デジタルライフ、もっと快適に

BUFFALO™



メルコグループ
Business Report

2014.4.1 — 2014.9.30

変化を恐れず挑戦し続けることで、 永続的な成長を目指します。



株式会社メルコホールディングス
代表取締役会長 牧 誠

周辺機器部門に加え、サービス部門・ 金融部門を重点分野とし増益

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減に加え、天候不順による個人消費の落ち込みが見られました。一方、米国経済は製造業を中心に拡大基調にあり、欧州経済も緩やかな回復傾向が続きました。

こうした環境下、メルコグループは来年度の創業40周年に向けてグループの経営理念としてメルコバリュー^{*1}を新たに制定しました。さらに、森の経営^{*2}の一層の強化を図るため、周辺機器部門に加えサービス部門及び金融部門を重点分野と位置付け、グループ収益力の強化に努めました。周辺機器部門では、特に産業用機器市場の開拓のため、産業用途ストレージメーカーである“株式会社バイオス”を買収するなど強化に努めました。サービス部門では、多様化する機器に対応した訪問設定サービスの拡充や賃貸物件へのWi-Fi^{*3}導入を支援する“アパートWi-Fi”を拡販しました。また、金融部門においては、計画通り事業立ち上げを行いました。さらに、将来のビジネス展開も視野に入れ、社会福祉法人や自治体と連携し高齢者を見守る製品・サービスの検証を進めています。

その結果、当第2四半期連結累計期間のメルコグループの売上高は、サービス部門及び金融部門が好調に推移したものの、周辺機器部門が消費低迷等の影響により減少したことから、384億92百万円（前年同期比18.5%減）となりました。営業利益は、粗利の改善や販売管理費の削減が奏効し13億28百万円（同9億8百万円増）、経常利益は17億74百万円（同9億8百万円増）、四半期純利益は12億53百万円（同6億94百万円増）となりました。

オペレーション力の強化と法人事業への シフトを加速させ、収益力強化を図る

上半期の周辺機器業界は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減が7月以降に顕在化したことに加え、7～8月の天候不順も重なり個人消費が予想以上に落ち込みました。

こうした環境下、周辺機器部門に加えサービス部門及び金融部門を重点分野と位置付け、経営力の強化に努めました。特に周辺機器部門では、売上が伸び悩む中、粗利の改善や営業努力

及び販売管理費の削減等が奏効し収益性が向上しました。しかしながら、上半期の売上が期初予想に届かなかった上、下半期においても消費動向の厳しさは続く予想されることから通期業績は、売上高830億円（前年同期比18.0%減）、営業利益30億円（同6.7%増）、経常利益39億円（同8.7%増）、当期純利益27億円（同27.6%増）を見込んでおります。

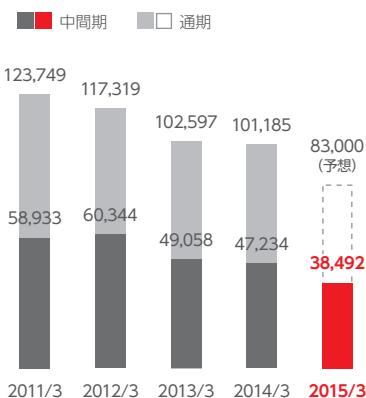
メルコグループの強みは、変化を恐れることなくいち早く行動に移せることです。この強みを活かし、いかなる困難も一丸となって乗り越え、お客様の視点に立ったより良い製品・サービスの提供を続けてまいります。さらに、オペレーション力の強化と法人事業へのシフトを加速させ、収益力の強化を図ってまいります。今後ともメルコグループにご支援賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

※1：メルコバリューとは、「千年企業」「顧客志向」「変化即動」「一致団結」からなり、メルコグループ役職員の精神的な支柱であり、あらゆる活動の根幹をなすものです。

※2：森の経営とは、単一の急成長型企業から複合的な長期成長企業群としての経営形態へ移行することで、永続的な成長と収益の拡大を通じて企業価値の増大を図るというグループ規範です。

※3：Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

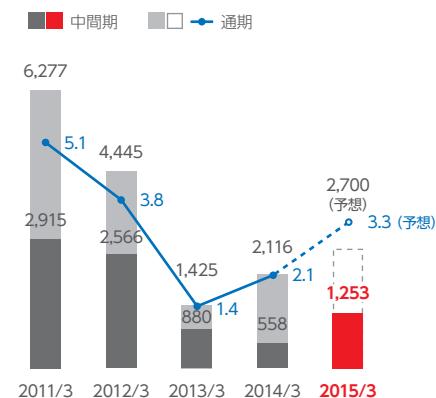
連結売上高 (単位：百万円)



連結経常利益 (単位：百万円)
連結売上高経常利益率 (単位：%)



連結当期純利益 (単位：百万円)
連結売上高当期純利益率 (単位：%)



より快適に、いっそう使いやすく、
お客様の生活やビジネスをサポートしていきます。

周辺機器



無線LAN
中継機

高速Wi-Fi
ルーター

スマートスイッチ

ネットワーク製品

パソコンやスマートフォン、タブレットなどの機器間のデータ共有や、インターネットへのアクセスを可能にするネットワーク製品。中でも無線によるホームネットワークを手軽に構築できるWi-Fiルーターはデジタルライフの柱となりつつあります。ビジネスシーンでもスマートスイッチなどが新しい需要を拓いています。

ストレージ製品

データを保存する記憶装置。外付けハードディスクはデータ保存はもちろん、テレビ番組の録画など、活用範囲が広がっています。NASはネットワークに接続して、複数の機器でデータを共有できるハードディスク。自宅のNASに保存した録画番組を外出先からスマートフォンで見ると、新しい楽しみ方も広がっています。



法人向けNAS

家庭向け
NAS

外付けハードディスク

サプライ・アクセサリー製品

マウス、キーボードなどの入力機器をはじめ、スマートフォンやタブレット用のアクセサリーをラインナップ。透明度が高く、紫外線で黄ばみにくいケースや、クリック時の「カチカチ」音を抑えたマウスなど、付加価値の高い製品の開発に注力しています。



静音マウス

iPhone
ケース

セキュリティ
USBメモリ

メモリーモジュール

その他

パソコンの自作ユーザーに人気のPCパーツブランド「玄人志向」、写真をテレビで楽しめるデジタルフォト・アルバム「おもいでばこ」、ハイレゾ音源を保存する専用のNASなど、デジタルライフをさまざまな角度から支援しています。



玄人志向

玄人志向

おもいでばこ

ハイレゾ・オーディオNAS

サービス



アパートWi-Fi

個人向けの訪問設定サービスや法人向けのセットアップサービスの拡充に加え、アパートオーナー向けに無線LANレンタルサービス「アパートWi-Fi」を始めるなど市場拡大に取り組んでいます。

金融

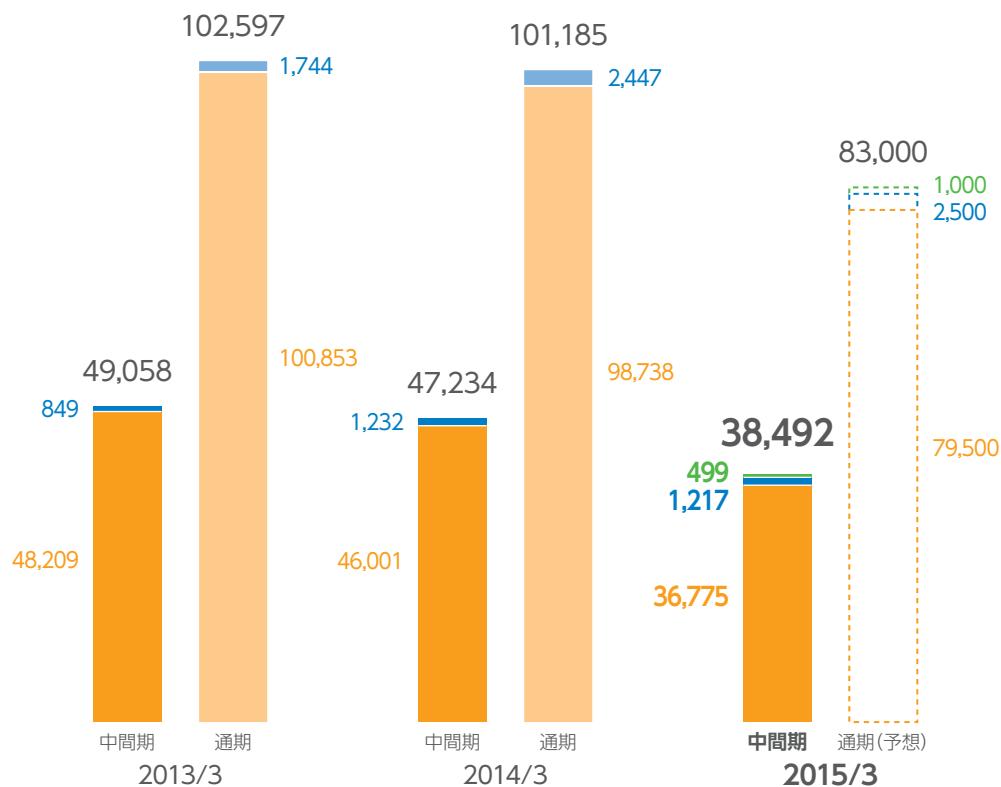
前期より営業開始に向け準備を進めておりました金融事業において、当期初より無事に営業を開始しました。金融という新たな分野への参入によって、メルコグループの収益力強化を図っています。

連結売上高推移

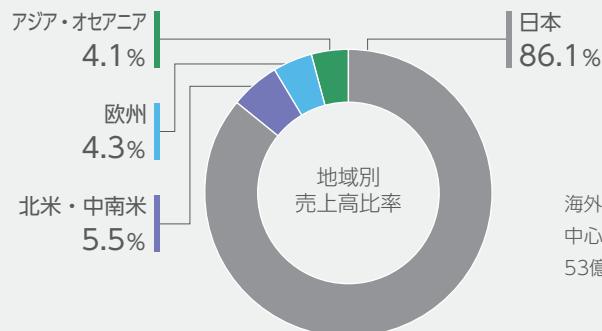
(単位：百万円)

- 金融
- サービス
- 周辺機器

※当第2四半期連結会計期間より、セグメント区分を変更しました。各情報は変更後の区分に基づき作成しております。



海外売上高



5,339百万円 42.0%減 ↓

海外事業の売上高は、低収益製品が主な個人向け製品から高付加価値製品中心の法人向けへ販売の軸足を大きく移したことから販売台数が伸びず、53億39百万円（前年同期比42.0%減）となりました。

部門別連結売上高



周辺機器

36,775百万円

前年同期比 20.1%減 ↓

周辺機器部門の売上高は、消費低迷等の影響によりすべての製品群で減少し、367億75百万円（前年同期比20.1%減）となりました。一方、営業利益は、粗利の改善や営業努力及び販売管理費の削減等が奏効し8億15百万円（同6億42百万円増）となりました。主な製品別の状況は、以下の通りです。

【ストレージ製品】 ストレージ製品では、録画番組を持ち出せ外出先にてスマートフォン・タブレット等で視聴できるポータブルハードディスクを世界で初めて*1上市し販売強化に努めました。しかし、低収益製品の販売抑制等の影響により、販売台数は前年同期比で34.3%減少し、売上高は114億67百万円（同27.4%減）となりました。NAS製品では、個人向けに録画番組を外出先から見られるDLPA*2リモートアクセス2.0対応製品の普及に努めました。また、法人向けに小規模な映像監視システムの構築に最適な製品を上市し、映像監視ソリューションを推進しました。さらに、販売パートナーが安心して当社の製品やサービスをエンドユーザーに提案できるよう販売支援・情報提供・技術研修を行うVARパートナープログラムを推進し、営業提案力及びサポート体制強化に努めました。しかし、海外での販売減少の影響等で販売台数は前年同期比で21.1%減少し、売上高は62億34百万円（同7.6%減）となりました。

【ネットワーク製品】 ネットワーク製品では、家庭内のWi-Fiの電波が届きにくい場所でも快適に無線インターネットを楽しめる小型中継機を販売し、Wi-Fi環境の更なる向上のためホームネットワークソリューションを推進しました。また、法人向けに管理機能を搭載したスマートスイッチの新製品を上市し、トラブルに強いネットワーク環境の普及に努めました。しかしこうした取り組みは当累計期間への貢献には至らず、販売台数は前年同期比で11.8%減少し、売上高は81億57百万円（同16.4%減）となりました。

【メモリー製品】 メモリー製品では、パソコン用メモリーの販売が低迷する中、産業用組込メモリー等の販売強化を行いました。しかし、販売台数は伸びず前年同期比で14.2%減少し、売上高は23億84百万円（同5.7%減）となりました。フラッシュメモリー製品では、パソコンのウイルス感染を未然に防ぐウイルスチェック機能付きのUSBメモリーやタブレットに挿したままでも邪魔にならない超小型USBメモリー等、付加価値製品の販売強化に努めました。しかし、低収益製品の販売抑制等の影響により販売台数は前年同期比で48.0%減少し、売上高は27億円（同14.8%減）となりました。

【サプライ・アクセサリ製品】 サプライ・アクセサリ製品では、スマートフォン・タブレットの普及に伴い、複数機器を同時に充電できるUSB充電器や液晶保護フィルムをズレが少なく貼ることの出来る製品の販売強化に努めました。その一方、オペレーションの効率化を目指し、製品ラインナップの絞り込みを実施したことから、販売台数は前年同期比で35.4%減少し、売上高は35億60百万円（同26.1%減）となりました。



サービス

1,217百万円

前年同期比 1.2%減 ↓

サービス部門の売上高は、個人向けの訪問設定サービスや法人向けのセットアップサービスの拡充に加え、アパートオーナー向けに無線LANレンタルサービス“アパートWi-Fi”を始めるなど市場拡大に取り組みましたが、当累計期間への貢献には至らず、12億17百万円（同1.2%減）となりました。営業利益は、販売管理費の削減等が奏効し1億61百万円（同34百万円増）となりました。



金融

499百万円

前期より営業開始に向けて準備を進めておりました金融部門においては、当期初より無事に営業を開始することができ、売上高は4億99百万円、営業利益は2億35百万円となりました。

*1：DTCP-IP機能搭載をうたうWi-Fi接続ポータブルHDDとして。（2014/5 当社調べ）

*2：一般社団法人デジタルライフ推進協会（DLPA）は、デジタルライフの健全な発展を目指し設立された協会であり、著作権保護映像の利便性向上を目指し、ホームネットワーク技術の研究及びガイドラインの策定などに取り組んでいます。

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当中間期 2014年 9月30日現在	前期 2014年 3月31日現在
①【資産の部】		
流動資産	59,532	63,810
固定資産	3,586	3,665
有形固定資産	649	670
無形固定資産	1,498	1,585
投資その他の資産	1,438	1,410
資産合計	63,118	67,475
②【負債の部】		
流動負債	16,736	22,179
固定負債	2,240	2,224
負債合計	18,976	24,403
③【純資産の部】		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	774	774
利益剰余金	42,120	41,313
自己株式	△61	△61
株主資本合計	43,834	43,026
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	152	99
繰延ヘッジ損益	240	△0
為替換算調整勘定	△162	△151
退職給付に係る調整累計額	78	96
その他の包括利益累計額合計	308	44
純資産合計	44,142	43,071
負債・純資産合計	63,118	67,475

POINT

① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の総資産は631億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億56百万円減少しました。流動資産は595億32百万円となり42億77百万円減少しました。これは主に、現金及び預貯金の減少46億45百万円、受取手形及び売掛金の減少20億円、商品及び製品の減少7億13百万円、有価証券の増加30億円によるものです。固定資産は35億86百万円となり78百万円減少しました。

② 負債の部

負債合計は189億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ54億27百万円減少しました。流動負債は167億36百万円となり、54億43百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少41億46百万円によるものです。固定負債は22億40百万円となり、15百万円増加しました。

③ 純資産の部

純資産合計は441億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億71百万円増加しました。これは主に、当期純利益12億53百万円の獲得と、配当金の支払4億44百万円によるものです。

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

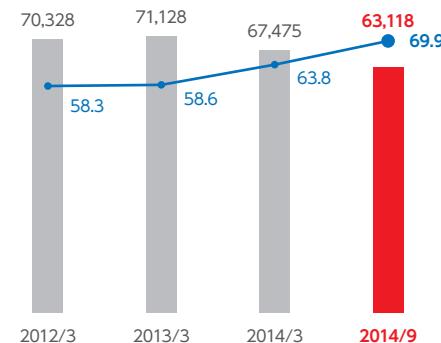
科目	当中間期 自 2014年 4月 1日 至 2014年 9月30日	前中間期 自 2013年 4月 1日 至 2013年 9月30日
売上高	38,492	47,234
売上原価	30,042	39,395
販売費及び一般管理費	7,120	7,419
営業利益	1,328	419
営業外収益	471	477
営業外費用	25	31
経常利益	1,774	866
特別利益	—	1
特別損失	17	10
税金等調整前四半期純利益	1,757	856
法人税、住民税及び事業税	476	438
法人税等調整額	27	△139
四半期純利益	1,253	558

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期 自 2014年 4月 1日 至 2014年 9月30日	前中間期 自 2013年 4月 1日 至 2013年 9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△885	308
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,308	△5,210
財務活動によるキャッシュ・フロー	△444	△437
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	118
現金及び現金同等物の増減額（減少は△）	△4,645	△5,221
現金及び現金同等物の期首残高	9,561	11,567
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,916	6,345

■ 総資産 (単位：百万円)
自己資本比率 (単位：%)



詳細情報は

メルコホールディングス IR

検索

melco-hd.jp/ir/top

国内

■ 株式会社メルコホールディングス

商号	株式会社メルコホールディングス (英文社名) MELCO HOLDINGS INC.	役員 (2014年 9月30日現在)
設立	1986年 (昭和61年) 7月1日	代表取締役会長 牧 誠
資本金	10億円	代表取締役社長 牧 寛之
事業内容	メルコグループの純粋持株会社 傘下事業会社の株式を所有し、事業活動支援、経営指導を通じて統括管理を行う	取締役副社長 松尾 民男
従業員数	18名、メルコグループ連結828名	専務取締役 斉木 邦明
グループ企業	会社数22社 (国内13社、海外9社)	取締役 津坂 巖
		取締役 箕浦 啓進
		常勤監査役 豊岡 誠史
		監査役 上總 康行
		監査役 額 満
		監査役 青山 高美

■ 株式会社バッファロー

商号	株式会社バッファロー (英文社名) BUFFALO INC.	役員 (2014年 9月30日現在)
創業	1975年 (昭和50年) 5月1日	代表取締役社長 斉木 邦明
設立	1978年 (昭和53年) 8月5日	取締役 松尾 民男
資本金	3億2千万円	取締役 渡邊 泰治
事業内容	デジタル家電及びコンピュータ周辺機器の開発、製造、販売	取締役 嶋田 勉
従業員数	503名	取締役 井上 武彦
		取締役 関 博式
		取締役 萩原 信男
		監査役 豊岡 誠史
		監査役 続木 政直

事業所	本社	〒460-8315	名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル	TEL.052-249-6610	FAX.052-249-6609
	東京オフィス	〒104-0033	東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー	TEL.03-3523-3333	FAX.03-3523-3300
	大阪オフィス	〒532-0003	大阪市淀川区宮原4-1-14 住友生命新大阪北ビル	TEL.050-5533-1250	FAX.06-6398-5755
	札幌営業所	〒060-0031	札幌市中央区北一条東1-4-1 サン経成ビル	TEL.011-200-8150	FAX.011-200-8151
	仙台営業所	〒983-0852	仙台市宮城野区榴岡4-5-22 宮城野センタービル	TEL.022-291-0311	FAX.022-298-9470
	名古屋営業所	〒460-8315	名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル	TEL.052-249-6600	FAX.052-249-6601
	広島営業所	〒730-0015	広島市中区橋本町10-10 広島インテス	TEL.050-5830-8888	FAX.050-5830-8889
	福岡営業所	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前4-9-2 YAOJセンタービル	TEL.092-477-3711	FAX.092-477-3755

■ シー・エフ・デー販売株式会社

「パソコンパーツの総合サプライヤー」を目指しています。「女人志向」ブランドを展開

■ 株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ

個人・法人を対象にパソコン設定・ネットワークインフラ構築・保守などのサービスを提供

■ 株式会社バッファローメモリ

電子部品・電子応用製品の開発・販売

■ 株式会社バッファローリース

アパートWi-Fiの販売・レンタル及び通信キャリアなど機器を配布するサービスのレンタル代行

■ 株式会社バッファローダイレクト

インターネットを活用し、メルコグループ各社の商品を直販

■ 株式会社バイオス

ストレージ、ストレージサーバー製品、ストレージ関連製品の開発・製造・販売

■ メルコフィナンシャルホールディングス株式会社

メルコグループにおける金融事業の統括管理

■ メルコインベストメンツ株式会社

金融商品仲介業など

海外

■ 〈米国〉BUFFALO AMERICAS, INC.

パソコン周辺機器とブロードバンド関連機器の販売

■ 〈欧州〉BUFFALO EU B.V.

欧州統括会社

■ 〈中国〉巴法络 (亞洲) 有限公司

製品調達、製品管理及び国際物流

■ 〈中国〉美禄可 (北京) 商贸有限公司

パソコン周辺機器とブロードバンド関連機器の販売

■ 〈台湾〉巴比禄股份有限公司

パソコン周辺機器とブロードバンド関連機器の販売

■ 〈シンガポール〉Melco Capital Pte. Ltd.

投資運用業

2014年 9月30日現在

■ 株式の状況

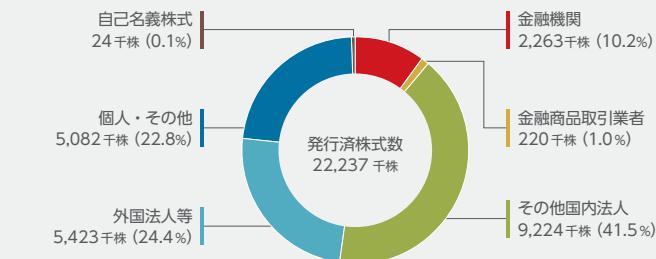
発行済株式数	22,237,873株 (自己株式24,495株含む)
株主数	7,513名

■ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社マキス	8,485	38.2
いちごトラスト	2,097	9.4
牧 誠	642	2.8
牧 寛之	617	2.7
牧 大介	617	2.7
株式会社名古屋銀行	501	2.2
公益財団法人メルコ学術振興財団	500	2.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	385	1.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	230	1.0
上田八木短資株式会社	217	0.9

(注) 1. 持株数は、千株未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算し、小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。

■ 所有者別分布状況



(注) 1. 持株数は、千株未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 構成比率は、小数点第2位以下を四捨五入して表示しております。